

5月15日から18日の4日間、沖縄平和行進に参加しました。

1日目は、沖縄平和行進全国結団式と三単産結団式が行われました。沖縄平和行進全国結団式では、今年で本土復帰54年となりますが未だに沖縄の過重な基地負担は変わらず、沖縄の広大な土地に国内の米軍専用施設の7割が集中し基地から派生する事件、事故が後を絶えない現状などを知り、自分がいかに無知であったかを思い知らされました。基地のない、戦争のない、核のない平和な世界を創造して訴えていかなければいけないと感じました。三単産結団式では、全国から集まった参加者の皆様が集結し、それぞれの意気込みや活動においての取り組みなどを確認できました。

2日目の平和行進は読谷村陸上競技場にて、8時30分より出発式があり、平和への思いを訴えて嘉手納基地コースを歩きました。皆で協力しながらシュプレヒコールをあげ続けて沖縄の平和を望む方々の思いを背負いながら行進しました。歩いてみて沖縄の現状を学ぶことが沢山ありました。特に印象に残ったのは米軍基地の広さ、そして戦闘機の音です。間近で聞く爆音は凄まじく身体にズシリと衝撃が響きます。この離着陸が1日に何度も行われてる現実に衝撃を受け、いかにこの活動が重要なのかを身に染みて感じました。途中右翼の妨害が何度もあり大変でしたが、皆で団結し、沿道で手を振って応援して下さる沖縄市民の方々に力ももらい無事に北谷ドームまで歩くことが出来ました。北谷ドームでは、平和とくらしを守る県民大会が行われ、2000人以上の方が集まり、沖縄で進む自衛隊の配備強化や高市政権による改憲の動きを許さず、県民の生活の安定と安全の確保するため、基地のない沖縄、戦争のない平和な世界の実現を誓い合いました。

3日目の最終日は、平和祈念資料館の視察から始まりました。こちらの施設では沖縄戦の歴史、戦争の悲惨さを学ぶことができました。特に印象的なのは戦争を体験した方の証言や当時の写真など、とても考えさせられることが多く、時間をかけて見る価値のある施設でした。次の視察場所ひめゆり平和祈念資料館では、ひめゆり学徒隊について学びました。戦争時の苦勞と命がけの活動など、生き残った生徒たちの証言映像などを見て、当時の悲しみや苦しみが伝わり、胸が締めつけられる思いでした。平和の大切さを改めて実感しました。最後は旧海軍司令部壕を視察しました。資料館を見学後、資料館下階から長い階段を下って行くと地下壕があり、無線室や作戦室、司令官室がありました。司令官室では、自決を決断した際、自ら自爆した手榴弾の破片の跡が部屋一面に残っているのが印象的でした。戦争の無残を実感できる施設でした。

ホテルに戻り、三単産学習会、三単産夕食懇親会がありました。懇親会では各支部1人ずつ

3日間の活動を経ての感想を発表しました。戦争をなくす、平和な世界を、基地のない沖縄を目指す、皆さん気持ちが熱く、それぞれの思いがとても伝わりました。今回初めて沖縄平和行進に参加しましたが、沖縄の歴史や問題、現状など数多くのことを学ぶことができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。また来年以降も参加できるチャンスがあれば是非とも参加して沖縄県民の思いを背負い行進したいと思います。